

第5回 湖西市立小中学校統合準備委員会 議事録

<日 時> 令和8年9月7日(月) 15時00分～16時30分

<場 所> 健康福祉センター 3階・研修室

<参加者> 33名

委員 18名(学識経験者2名、保護者代表7名、地域代表3名、校長5名)

事務局 5名(教育長、教育次長、学校教育課長、学校教育課職員2名)

傍聴者 10名

<会議内容>

【事務局から経過報告】

- ・通学手段通学方法に関するアンケート調査の実施報告
- ・白須賀地区の学校再編に関する結果報告

【統合への取り組みにむけた現状報告。(東小校長より)】

- ・東小知波田小の合同のシーカヤック体験の継続、合同の行事の新規計画。のんほいパーク、今川体験、車いすバスケの体験など。水泳授業の外部委託の実施について。教職員の負担も軽減されて、児童からも好評であった。

【統合への取り組みにむけた現状報告。(湖西中校長より)】

- ・事務関係の統合。教材や備品に関するもの。体操服卒業アルバムの業者関係、PTAや部活動、校則など。

【事務局より資料に基づきパワーポイントにて説明】

- ・アンケート結果の報告について事務局より報告。アンケートの回答率や小中学校校区別の分析、自由意見の紹介

【委員より】

回答率が70パーセントになっていますが、なぜ30パーセントの人が回答できなかったか分析しているか。

【事務局より】

未就学児世帯は関心がまだ薄い可能性が高い。就学児がいる世帯は学校から配布して未回答の世帯へ催促もした。未就学児世帯の回答率の低さが30パーセントに影響したと思う。

【委員より】

小学生以上の方だけでパーセントを出してもらうとわかりやすい。全体で7割は少ないという印象。

【委員より】

バスタクシーとあるが、これに係るお金の考え方は。全額家庭でもつのか、市

から補助が出るのか。

【事務局より】

今回の調査では、補助を出すかどうかは一切触れていない。保護者世帯がどのようなふうを考えているかどうかは現状把握をしていない。

【委員より】

それによってアンケート結果の回答内容が大幅に変わる可能性がある。事務局での考えを示したうえで再度アンケートをおこなうべきだと思う。

【委員より】

小学生のこどもがいる。自転車でも問題ないが、危険個所は気になる。しっかり整備して安全の確保をしてくれればいい。バスだと思っていたので自転車かと思った。安全を考えればバスを出してもらえると安心。

【委員より】

小学生のこどもがいる。県道 330 普段車で通っても草が生い茂っている。傾斜もついていて転がるもの怖い。中学生は荷物も重たい。雨の日や冬、カーブも怖い。帰りの坂道でスピード出すのも怖い。まわりの保護者も同じ意見。

最初からバスだと思っていた。バスじゃなかったら統合を反対するという意見もある。自転車なら送迎したいという人もいた。

【委員より】

小学生のこどもがいる。県道 330 は片側に歩道がない。反対側に歩道が作れるのか。逆走になってしまうのかなど。岡崎経由も細い道を上る必要がある。

悪天候の日だけバスに乗りたい。っていうのも自由記述欄にも書いた。スクールバスなどであれば料金のことも自己負担なのかどうか気になります。あと1年ちょっとで間に合うかどうか気になる。

【委員より】

小学生のこどもがいる。バス通学として、行きはあって帰りはないとかが心配している。

小中学生の時間差や、料金の自己負担が気になる。

【事務局より】

バスタクシーの自己負担については、明確にお答えできないが、経済的な負担については少なくしていくべきだと考えている。県道 330 については県土木事務所にも整備のお願いをしている。歩道についても逆走にならないことが確認できている。多くのかたが歩道を通っている状況ではないことが確認された。

帰りについてもバスタクシーを考えている。

【委員より】

大森周辺の島野鉄工の抜け道は、車もゆっくり走っていない。中学生が自転車で走るなら朝の時間は止めるのがいい。踏切は高校生が通るが、高校生を待たないと通れない。中学生がたくさん通るとなると踏切広くできるのかは懸念。中学校のかばんは本当に重い。大森の坂を上るのも下るのも急すぎて怖い。

【委員より】

統合の話があったときからバスだと思っていた。距離でバスと言われたときは正直びっくりした。こどもにいったらオッケーといった。この地区で育った父親はそんなのありえないと言っていた。こどもと大人で感覚が違うかも。

通学手段で新しくいく人たちの意見も大事だが、岡中のすでに通っている子たちにも併せてあげる必要があると思う。小学校は太田の子が通っている道の反対バージョンなので、そんなに心配していない。祖父母は心配している。車で送迎を考えている。車で送迎となったとき安全に送迎できるかも心配。決まってきたからの方がそれぞれの意見がたくさん出てくるとおもう。分からない状態ではなかなか意見が出にくい。

【委員より】

一光製作の前の道路は怖い。入出の遊歩道もいいけど川沿いなので危ないとも思うし。岡崎中学校へ通うのはバスかもとこどもにも話したら、バスじゃないのといった。湖西中の交差点、大森駅の周辺は車通りが多いので、まわりの人も不安がっている。アンケートどおりみんな同じような不安を抱えている人が多いのかなという印象

【事務局より】

今回のアンケートにつきまして提示したバス通学の距離は、令和 7 年 3 月に策定した学校再編基本計画をもとにさせていただいている。その基本計画をないがしろにして今回のアンケートで距離として出してしまうと混乱を招くと考え、基本計画に基づいた距離として出した。アンケート結果や委員の意見からもバスをはじめから想定してた方が多いということが実態として分かった。

次回委員会ではより具体的な案を示していく必要があると認識した。

小学校の送迎についても、現在の湖西中学校周辺の道路や、学校敷地の関係など教育総務課にも相談している。送迎のことも踏まえたルートを示す必要があるということを確認した。

県道市道についても、県や警察関係各所に相談している状況である。

【委員より】

大森の坂は急すぎて危険だなと感じる。帰りだけでも梅の木坂を下るのはどうだろうと感じた。

【事務局より】

通学路として安全確保ができるのかどうか検討しているところです。

【委員より】

令和 10 年度は岡崎中、令和 11 年度湖西中ということで、小学生と中学生がおなじところを通学するようになる場所もある。令和 10 年度だけでなく令和 11 年度のことも考えておかないと想定外のことがおこってしまう。

【事務局より資料に基づきパワーポイントにて説明】

実証実験の結果報告について、

- ・大森周辺の交通量調査。
- ・8/31 知波田から岡崎中、9/1 新所から岡崎中の通学実証実験

【委員より】

一緒に通学実証実験にいった代表として。知波田から太田に向かう坂道。ここはなんとか上がることができた。大森の坂は5分の1でやめた。中1では厳しいとおもう。登り切ったとしても歩道が切れるところがありふらふらしたら危ない。7時40分に到着したがその時点で汗がダラダラ。

【委員より】

私はトヨタバッテリーの坂をのぼりきったがシップを貼っている。

皆さんの意見を聞くと安全第一。バスとかタクシーとか天浜線とか、高齢者に予算を出すのであれば子どもたちの分も負担してもらいたい。

そのうえでみなさんにバスとか天浜線とか選んでももらいたい。1年半で整備するのも草刈りとか横断歩道程度で終わってしまう。事故があると大変。予算をどれくらいとれるかというのが大切。統合してよかったなあという気持ちになってもらいたい。そのためには通学の不安がないような形で考えていく必要がある。個別の細かい危険箇所はキリがない。

ちゃんと住める地域だよ、学校にも通えるということを示していく必要がある。

【委員より】

県道 330 は歩道が片側にしかなく、その歩道が暗くて、草木が生い茂っているなのでそこを考慮してほしい。

【委員より】

今の小学生がどれくらいの方が自転車に乗っているのかが心配。最近の子は全然乗っていないという話もきく。

【委員より】

確かに自転車に乗らなくなるという傾向は確かにあると思うのでそこはしっかり調査したほうがいい。